

Q 複合的理学療法を行っているけど…

なかなかサイズダウンしない。

A まずは形成外科で現在のリンパ管の状態を診て頂きましょう。10人中7~8人の方は、一般的な着圧で適切な理学療法を行っていれば、改善方向へと向かいます。しかし、2~3人は次の一手が必要！

1. 0期~Ⅱ期において適切な理学療法を行っても改善しない場合
2. 適切な理学療法を行っているにもかかわらず症状が増悪する場合
3. 蜂窩織炎を繰り返す場合
4. リンパ浮腫に関する痛みがとれない場合
5. 患者様の理学療法に対するコンプライアンスが低い場合 ~もうできない…~
6. 陰部リンパ小胞がある方
7. 重症リンパ浮腫で治療に難渋されている

こんな時は外科的治療法を検討する方法もご
ざいます。(保険適応) 他

●リンパ管静脈吻合術

(Lymphaticovenular anastomosis: LVA)

●血管柄付きリンパ節移植術

(Vascularized lymph node transfer)等

- ・外科的手術後も圧迫は必要となります。
- ・がん治療中は、治療計画に影響を与える可能性がありますので、必ず主治医の先生と十分に相談することが重要です。

野田 雅美

医療リンパ浮腫療法士/弾性ストッキングコンダクター

柔道整復師/鍼師・灸師/あん摩マッサージ指圧師

《受付時間》

第1・3・5火曜

9:00~17:30

第1・3・5火曜の翌日の水曜

9:00~13:00

金曜

9:00~17:30

土曜

8:30~12:30

※祝日の場合お休みをさせていただきます。

※ご予約のお時間10分前にはお越しく下さい。

※施術時間について詳しくはHPブログをご確認ください。

完全予約制

予約専用フリーダイヤル 0120-807-806

問い合わせ専用 027-289-2302

※施術中につき出られない場合もございます。

〒371-0012 群馬県前橋市東片貝町 599-6

入口に電柱看板あり ●建物前に4台

つつみ鍼灸接骨院 リンパ浮腫

検索

リンパ浮腫療院



つつみ鍼灸接骨院

リンパ浮腫の複合的療法について

現在リンパ浮腫療法に対しては、当院で行う複合的療法※1が標準療法とされており、ケースによっては、外科的治療を先行する場合もございます。浮腫（むく）みを感じたら早期発見！早期施術開始！

でも、ちょっと待って！！

複合的理学療法を開始しても大丈夫？本当にリンパ浮腫？別の浮腫みまたは疾患を併発していませんか？術後の方は、主治医の先生（基本的に手術をしてくださった先生）とリンパ浮腫療法を希望する旨をご相談の上、診療情報提供書をお願いしてください。また必要に応じてしっかり検査！それから、複合的療法開始です。

初検時に用意するもの

○手術内容がわかるもの

診療情報提供書・手術時の説明資料があればお持ちください。※診療情報提供書のご用意が難しい場合は初検時にご相談ください。

○保険証 本人確認のため

○現在使用中の弾性着衣・弾性包帯

以前使用していた物があればそちらもお持ちください。

○T シャツ・短パン・バスタオル2枚～3枚

使い捨ての施術着は当院でもご用意しております。（無料）

バスタオルはレンタルでもご用意できます。（レンタル代¥200/回）

※新型コロナウイルス感染防止の為ご協力の程宜しくお願い致します。

当院での複合的療法は、自費施術となっております。施術中に用いる一部の医療用品（弾性着衣等）に関しては、療養費申請により一部支給されます（条件や上限あり）。来院時に併せてご説明させていただきますが、詳しくは保健者にご確認ください。また、当院は完全予約制です。まずはお電話にてご予約ください。

主治医の先生の了解が得られましたら施術スタート。症状・状態・生活スタイル・体力を考慮し、一緒に目標へのスケジュールを決めていきましょう。もちろん、軌道修正・目標変更もご相談ください。

症状に応じた施術期

第1段階 集中排液期 5回～10回位が目標

溜まったリンパ液を減らす為、集中的に複合的療法を行う時期：浮腫みを軽減させる

※1：複合的療法について

1. リンパドレナージ
筋肉をほぐすマッサージや美容リンパマッサージと混同しないように
2. 圧迫療法 バンテージ療法・弾性着衣使用
3. 圧迫下での運動療法
4. スキンケア ～とても大切です～
5. 生活指導

↓

第2段階 維持期

第1段階で改善した状態を維持させる時期：浮腫みが軽減した良い状態を弾性着衣等で維持する
維持できているか・浮腫みの状態を確認

（3か月～半年に1度必要に応じて）

↓

GOAL

目標はリンパ浮腫による複合的療法を卒業！！または、ご自身で浮腫みのコントロールが出来るようになることです。

現在のご自身の病期は？

- 0期 やわらかい。
浮腫みは感じないが輸送障害がある
- I期 やわらかいが押すと戻らなくなることがある。患肢挙上で浮腫み消失
- II期【前期】押すと戻らない。患肢挙上では浮腫み消失しにくい。
- II期【後期】皮膚が繊維硬化し、押してもへこまない時が出てくる
- III期 押してもへこみにくくなり、表皮肥厚や脂肪沈着など皮膚変化がみられる
《国際リンパ学会の分類に基づく ISL2009》

～健康保険適応について～

往診対象者の複合的療法で一部適応になるケースがございます（緩和ケアなど諸条件あり）。必ず患者様の担当のケアマネージャーの方から、ご連絡いただきますようお願い致します。

※リンパ浮腫の複合的療法に関して前橋市のマッサージ助成券はご使用になれません。

こんな時は、まず医師に相談してください

1. 炎症兆候（悪寒戦慄・発赤・発熱）を感じる
2. 怪我をした時…細菌感染を起こしやすい
3. 皮膚の充血・うっ血…皮膚の変色
4. 痛み・圧痛…強い痛みや普段と違う痛み
5. 水虫のような感染症